

## 1. 適用範囲

本書は、DF61Y-2S-2.2C および DF61Y-2P-2.2V の挿入・抜去を行う際の手順について規定するものです。

## 2. コネクタ品名

品名	名称
DF61Y-2P-2.2V(%%)	ヘッダー
DF61Y-2S-2.2C(%%)	圧着ソケット
DF65-****SCF(A)(%%)	圧着端子

%%:仕様番号  
\*\*\*\*:適合番線 (AWG)

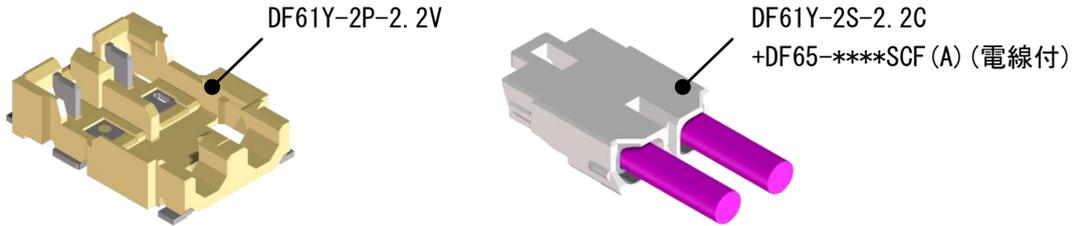


図 1. DF61Y コネクタ

## 3. 作業手順

### 3-1. 挿入作業

挿入作業は、(1)圧着ソケットのセット、(2)挿入、(3)嵌合確認 の手順で行います。

#### (1) 圧着ソケットのセット

圧着ソケットの前後左右4か所にある簡易ロックがヘッダーと接するように、圧着ソケットをセットします。

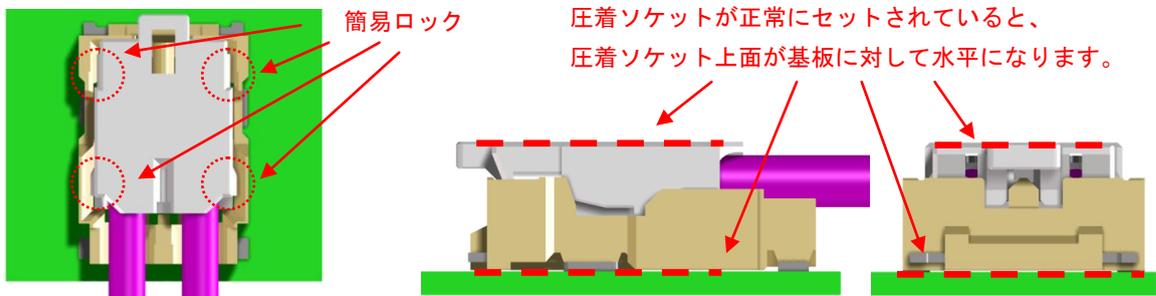


図 2. 圧着ソケットのセット方法

#### (2) 挿入

圧着ソケットの中央を押し、嵌合完了です。

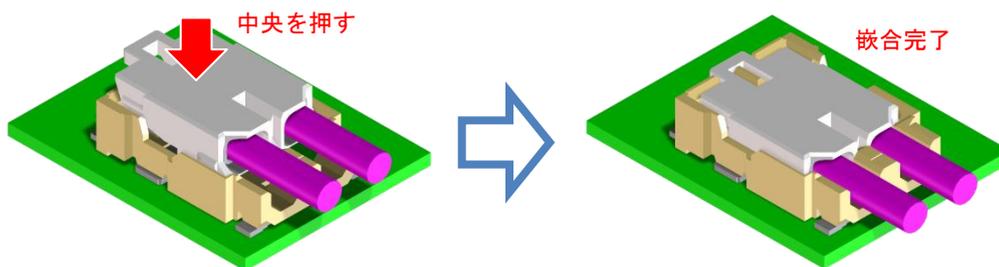


図 3. 挿入作業

COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△				
TITLE		 <b>HIROSE ELECTRIC CO., LTD.</b>		
DF61Y シリーズ挿抜手順書		APPROVED	KI. AKIYAMA	15. 03. 20
		CHECKED	TS. FUKUSHIMA	15. 03. 19
		DESIGNED	ST. SATO	15. 03. 19
		WRITTEN	ST. SATO	15. 03. 19
TECHICAL SPECIFICATION		ATAD-H0832-00	△	1 / 3

### (3) 嵌合確認

圧着ソケットが確実に嵌合されていることをご確認ください。

片側が浮いたり、斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外して、再度嵌合し直して下さい。

嵌合の外し方は、3-2. 抜去方法をご確認ください。

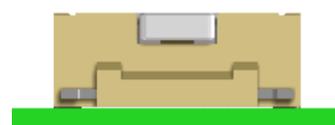
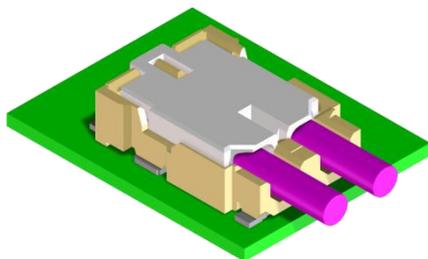


図 4. 正常な嵌合状態

圧着ソケット挿入時、図5のようにケーブル側の簡易ロックのみ挿入される場合がございます。  
この場合は、圧着ソケットの反ケーブル側を押し正常な嵌合状態にして下さい。

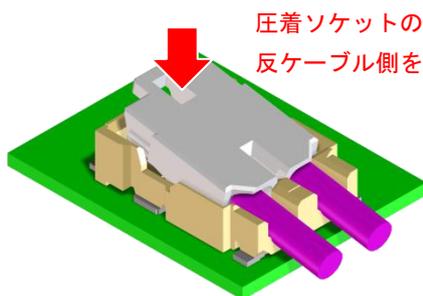


図 5. 未嵌合嵌合状態

圧着ソケットのセットが良好に行われていない状態でコネクタを挿入した場合、  
図6に示すように反ケーブル側の簡易ロックのみ挿入されることがございます。

この場合は、一度嵌合を外して、再度嵌合し直して下さい。

無理に嵌合すると、嵌合保持力が低下します。

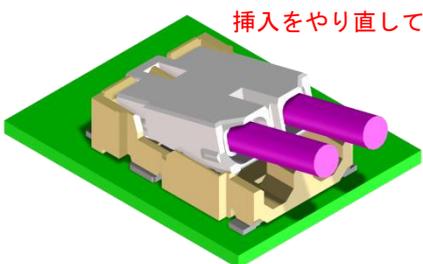


図 6. 禁止挿入作業

### 3-2. 抜去作業

抜去作業は、まず、圧着ソケットの嵌合解除用の突起に爪又は指を掛け、突起を持ち上げ、反ケーブル側の簡易ロックを解除します。

その後、圧着ソケット全体を持ち上げ、抜去作業完了です。

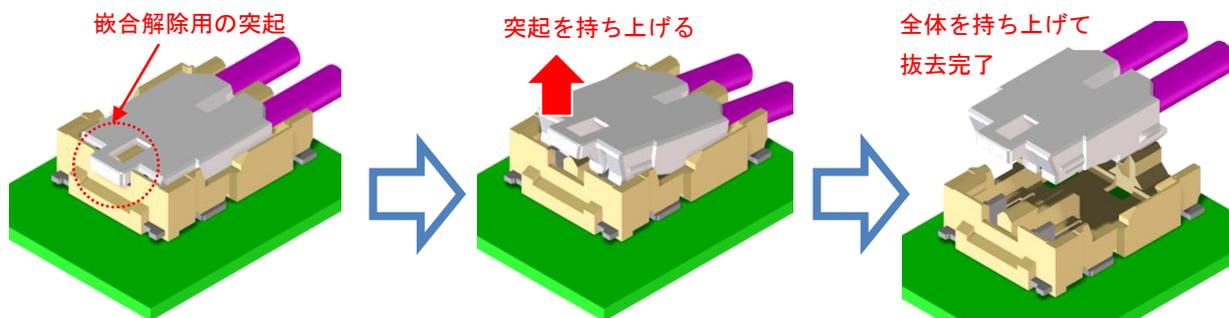


図 7. 抜去方法

抜去作業の際は、嵌合解除の突起をご使用下さい。

ケーブルを引っ張り、無理に抜去を行うと、断線、コネクタの破損が発生します。

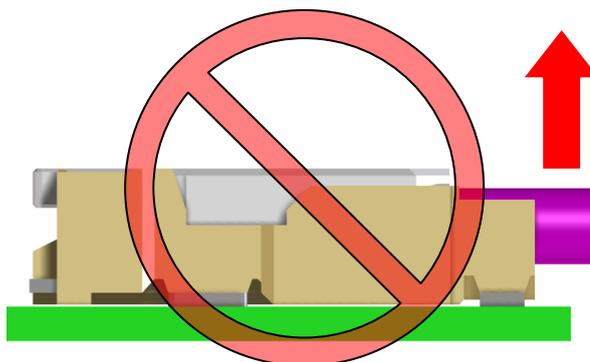


図 8. 禁止抜去方法

### 4. 注意事項

- ・ 通電時に挿抜作業は行わないで下さい。
- ・ コネクタに過大な外力が加わると、障害や破損を引き起こす場合がございます。  
無理な挿抜、落下衝撃、無理なケーブルの引っ張りや引き回しが無いよう、ご配慮下さい。